

まえがき

昨年12月の中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」により、学習指導要領の改訂の基本的な方向性が示されました。これに基づき、本年3月に幼稚園・小学校・中学校の学習指導要領等が告示され、高等学校学習指導要領についても、本年度中に告示されることとなっております。

本答申では「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、子どもたちに新しい時代を切り拓いていくために必要な資質・能力を育むためには、学習指導要領等の枠組みの見直し、カリキュラム・マネジメントの実現、「主体的・対話的で深い学び」の実現が重要であると示されています。

こうしたことを踏まえ、本年度の「高等学校教育課程編成・実施の手引」では、本答申に示された学習指導要領改訂に向けた改善の方向性や具体的な改善事項に加えて、「資質・能力を育成する学習指導の改善・充実」について取り上げ、学習指導の改善・充実を図るための教科研修の例や「主体的・対話的で深い学び」の実践例等を掲載することとしました。

各学校において、本手引が十分に活用され、学習指導の改善・充実が一層進められるとともに、地域や学校の実態に応じた創意工夫あふれる教育課程が編成・実施されることを期待しております。

平成29年11月

北海道教育庁学校教育局高校教育課長

山本明敏